

# 市民活動ニュース

回 覧

2007年5月

## 「亀山おもちゃの病院」が誕生！

市民ボランティアが子どものおもちゃを直します。

親子でモノの大切さを学ぶ場として、また退職後の生きがいとして、全国でたくさんのおもちゃの病院が活動しています。このたび亀山市に誕生しました。



初仕事をじっと見つめる親子

うまく直って嬉しそうな子どもの顔をみると、こちらも嬉しくなります。

「あいあい」にて



5月5日(土) 遊びフェスタ会場にて

### レポート：亀山おもちゃの病院 初仕事

4月14日(土) 亀山市で初めての「亀山おもちゃの病院」がオープンしました。

おもちゃの病院は、全国にあります回数を重ねるほど持ち込まれる数が増えてくるそうです。開店と同時に待っていた3家族が来場、さらに次から次へと来訪家族が・・・

初日の来院家族は10家族、子どもさんはそれぞれ2～3人、おもちゃの数は16個でした。

受付3人、ドクター4人、何事も初めてで、スタッフの皆さんは、やっと1時過ぎに交替で昼食を取るありさまでした。その場で直せず入院したおもちゃは4個、午後3時過ぎに予定を終了し、初日から充実した一日となりました。初開院には、津おもちゃ診療所代表の笹山康平さんも駆けつけられ、いろいろアドバイスしていただきました。

東海経済新聞社も取材にこられ「東海けいざい」に写真入りで記事となりました。

なお、診断は無料、修理は実費のみで100～300円程度が大半です。

### 今後の予定

6月16日(土) 関いきいきキッズ

7月21日(土) 市民協働センター

8月18日(土) あいあい

9月15日(土) 関いきいきキッズ

10月20日(土) 市民協働センター

11月17日(土) あいあい

12月16日(土) 関いきいきキッズ

1月19日(土) 市民協働センター

2月16日(土) あいあい

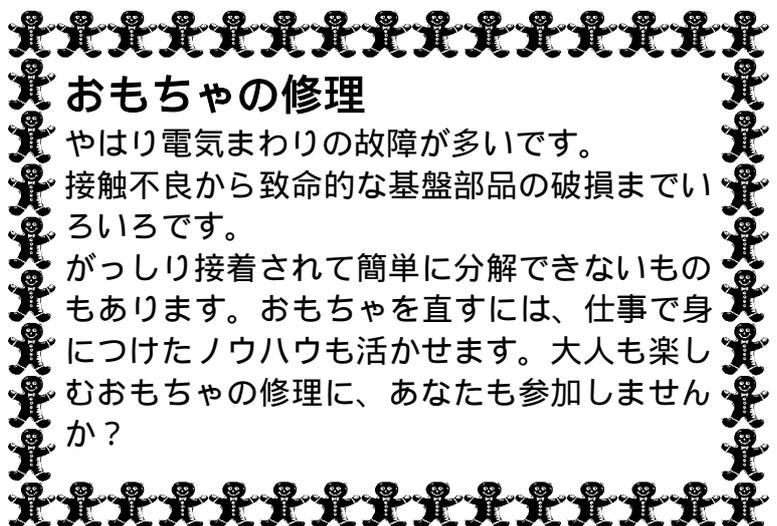
3月15日(土) 関いきいきキッズ

時間はいずれも10:00～15:00

連絡先 亀山市市民協働センター内

亀山おもちゃの病院

問合せ：0595-82-5667 植田まで



### おもちゃの修理

やはり電気まわりの故障が多いです。

接触不良から致命的な基盤部品の破損までいろいろです。

がっしり接着されて簡単に分解できないものもあります。おもちゃを直すには、仕事で身につけたノウハウも活かします。大人も楽し

むおもちゃの修理に、あなたも参加しませんか？



定例市民交流の日 2007年4月21日(土) 19:30～ 市民協働センター

## テーマ「地域に活かそう団塊の力」

資料から：亀山市の団塊層（58歳から60歳）の人口5.1% 定年を迎え亀山に戻ってくるかも。

### 団塊世代もさまざま：

自分は団塊世代、早期退職し地域活動に参加している。

今は60でもまだまだ元気、それゆえもっと地域貢献してほしい。年齢的にどうというより健康な人が多い。

60歳前でやめる人も多い。再就職の人もいる。いろいろとその人により違う。

団塊の世代の格差が出ている。年金はまだだし、下がっている。団塊の世代の格差を考えないといけない。

両親の介護を抱えている人もいる。54歳で辞めたが世間は甘くなかった。恵まれた世代ではない。団塊の世代は上から言われたことをやってきた。団塊の世代といっているが定年制、再雇用になったりして期待して

いない。現実には経済的に余裕が無く社会貢献できないのでは。悲観的だ。亀山をどうしたらいいか。生き

がいづくり。健康づくり。次代を乗り越えてきてパワフルな方が多い。何かされるだろうと思う。

### 問題点は？

地域に入りにくい、コミュニティの役に入りたいが再就職される、家庭に入るのはまだだと思う。奥さんもボランティアに何のメリットがあるのといわれる。自分たちのグループだけで楽しんでいる。

少しでも身近な地区から入っていただけよう努力したい。

市民が元気であるということが狙い。人生が輝けるものになるようにしたい。団塊世代は市民の中に入ることに抵抗がある。男性は後押ししてもらわないと地域へ入りにくいそうだ。

定年退職でどうするか、今までの経験を生かすという再就職になる。生活もかかっている。

亀山の地震で、自主防災組織の必要を感じる。東南海地震がおこったら自主防災組織が機能していないと思う。誰が声を掛け何をするか。お膳立てが市民のものになっていない。

### こうしたらどうか：

会社を退職後、家にいたら奥さんが嫌がるが男は出たがらない。3日家にいるとその後ずっといる。奥さんが迷惑。家にいたらいけない。何でも言える会を協働センターで開催したら。好きなもの同士のグループを

作っていったら。自分は家事をして奥さんを外に出すのがいい。趣味とか生涯学習に。企業の経験を活かす

より奥さんを外に出したらどうか。市の活性化に貢献してほしい。観光シルバーガイドとかしてほしい。退職後はゴルフが好きなどとき行けるが時間をどう使ったらよいかわからない。男の人は地域活動がどんなこと

をしているかわからない。趣味を引き出したい。自分の地区では3人に1人は65歳以上。世間が言う割には

農家は生きがいを失っていない。農業が盛んになっていると思う。馬力のある人が多い。

団塊の世代も自分でやることを探せばいい。自分の楽しみを考える人は遊びを考えてもらって。市役所では

活動を紹介している。訪ねてきたら情報提供できる基盤を用意しておきたい。気楽さがあるからいい。好きな

ことをし始めている。蓄積したものをいかせたら。

### 協働センターの活用を：

地域の教育、レベルを上げていく。文化的な素養をつけて欲しい。教育に活用をしたら。先の講演で行政は

神戸の地震のときにすぐ行動できなかったがボランティアはすぐ動けたそうだ。ネットワークで動ける体制

が必要。協働センターは結構利用されている、防災対策ネットをここから作ったら。遊びに来てちょっと入

るつながりからはじめて。堺屋太一は退職後は好きなことをやったらいいというが、好きなことがわからない

人が多い。自分の好きなことをどう見つけるか。こういう場できっかけ作りをしていきたい。

団塊の世代は、こんなことをしてみようというものを持っている世代である。自分は55歳で第1、65歳で

第2の仕事を終えた。恩返しで地域のことに力を入れている。地域とのふれあいが大切。若い人は覗きに来

るだけでも来てほしい。情報相談は大事。ネットワークが大事。相談も大事。どうネットワークを考えてい

くか。

有効な形で活かしていくために、その場で具体化できるものは具体化していきたい。



## 市民交流会の記録冊子ができました

去る2月25日(日)に開催された第7回市民交流会「5年後の亀山を語ろう」の記録冊子ができました。

実行委員会の議事から当日の話し合いの詳細、アンケート結果まで詳しく記載されています。

市民協働センターに置いてありますので、欲しい方はお持ち帰りください。無料です。



森の健康診断 実体験企画

## 実体験：森林の今

表土が流れ、池が埋まっていく状態を見てみましょう。間伐の実際も体験します。



日時：2007年5月27日(日)9:30~14:00 少雨決行  
集合場所：JR西日本 関西本線加太駅前9:30  
(亀山駅発9:08があり)

内容：オープニング>趣旨・内容説明>森の健康診断実地  
体験>昼食>診断結果の分析>専門の先生から解説  
間伐作業を見学(天候により不可能の場合があります)  
定員は先着30名まで 参加費 一人200円  
対象：森林ボランティアに興味のあるかた。初心者OK

申し込み先：鈴鹿川流域 森の健康診断実行委員会  
亀山事務局

亀山市東町1-2-22ねこの館内 090-8550-8318

メール [suzukamoriken@yahoo.co.jp](mailto:suzukamoriken@yahoo.co.jp)

## 歴史の道ウォーク(桜まつり)

晴れ渡った4月8日(日)、亀山城から関の観音山公園まで歴史の道ウォークが開催されました。準備体操の後、さくらが満開の亀山城跡を老若男女一群となって歩行を開始し、東海道を西へ進みました。途中の名所では、「かたりべ」さんたちによる解説もありました。

まず、長屋門での解説、さらに野村の慈恩寺では阿弥陀如来立像を拝みながら説明を聞きました。一里塚ではチェックポイントのスタンプも押ししてもらい、中間地点の太岡寺の休憩ブースではスタッフの皆さんからお茶のサービスもあり、街道の桜を満喫しました。鈴鹿川の流れを横に見ながらまもなく関地内に入りました。昔そのままの景観を残す関宿では行きかう遠来の旅人と挨拶を交わしました。関の地藏院を過ぎるとゴールまではもうわずか、最後の坂を登り関の観音山公園に到着、約2時間のウォーキングを終えました。





## 5月の市民交流の日「きらめき亀山21」

日時: 5月21日(月) 19:30~21:30

場所: 市民協働センター 申込み不要

内容: テーマ「**どうする、これからの亀山の景観**」

1級建築士奥田裕子さんから「景観法について」のお話を聴き、皆でこれからの亀山の景観について話し合います。

6月の市民交流の日「**どうなる?これからの亀山の景観**」

市の景観施策の現状と今後について、皆で話し合います。



## 市民協働センター利用者会議に参加しませんか?

日時: 5月27日(日) 13:00~15:30

場所: 市民協働センター 多目的ホール(申込み不要)

内容: 市民活動センターの利用について話し合い、利用者の皆さんに交流を深めていただきたく利用者会議を開催します。当日は市民活動を行う上で必要な広報やPRの仕方、イベントの作り方などのお話をお聴きし、楽しく交流したいと考えています。ぜひお越しください。

第1部

講演会「市民活動を楽しむ方法」

講師 津市市民活動センター理事 高垣和郎氏

第2部

利用者会議



## 新緑の中を歩きますか?

「亀山あるこうかい」では石水溪と安楽古道を探索

その後、坂本棚田での野上がり祭会場までのウォーキングを楽しみます。

見どころは溪谷美の石水溪、歴史を秘めた安楽古道

安楽窯の作品鑑賞、坂本棚田野上がり祭でのひとときです。

集合場所: 時間 6月3日(日) 9:00石水溪野外研修施設前

あるこうかいクラブ会員以外は300円必要です。

亀山あるこうかいクラブ連絡先: 関町中町752-8

不破為和 96-2532



## 市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。

詳しくは、市民参画協働室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@City.Kameyama.mie.jp)

又は、市民協働センター(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp)へご連絡ください。

編集作成: 「きらめき亀山21」企画会議(問い合わせ先: 亀山市市民部市民参画協働室 0595-84-5008)

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp

この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子唄会館・老人福祉センター・健康づくりセンター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)】E-MAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/> 市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> 情報いっぱい「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。